

# 身体語彙と慣用句

身体語彙とは、体の各部の名称である。慣用句とは、いくつかの単語でできている句が全体として特別の意味をもつようになったものである。身体語彙は、数多くの慣用句を作り出している。いずれも比喩的な表現といえる。

## 【頭】

**頭が固い** 自分の考えにこだわって融通がきかない。

**頭が切れる** 頭のはたらきが速く、有能である。

**頭をひねる** 難しいことを熱心に考える。

## 【顔】

**顔が売れる** 世間に広く知られる。有名になる。

**顔がきく** 信用や権力があって、相手に便宜を図ってもらうことができる。

**顔が広い** 交際範囲が広くて、多方面に知人が多い。

**顔を立てる** その人の面目を失わせないようにする。

## 【眉】

**眉に唾をつける** だまされないように用心する。

**眉一つ動かさない** 大事に臨んで、恐れ

たり心配したりする様子を示さない。

**眉を曇らす** 心配そうな顔つきをする。

**目がきく** もののよしあしを見分ける能力がある。鑑識力がある。

**目が覚める** 迷いが去って、正しい判断力を取り戻す。

**目に余る** 程度がひどすぎて見過ごすことができない。

**目をかける** 注目してひいきにする。

**目を盗む** 人に見つからないようにする。

**耳が痛い** 他人の発言・批評などが自分の弱点をついているので聞くのがつらい。

**耳にはさむ** ちらつと聞く。偶然聞く。

**耳を貸す** 相手の話を聞く。

**耳をそろえる** 金銭などを不足なくとりそろえる。

**口が軽い** 物言いが軽率である。秘密な

どを不注意に口外する。

**口がすべる** 言っではいけないことを、うっかり言ってしまう。

**口を合わせる** 示し合わせて同じ内容のことを言う。

**口をきく** 仲介やあっせんをする。とりもつ。

**口を濁す** はっきりと言わずにぼかす。

**首が回らない** 借金などで、やりくりがつかない。

**首をかしげる** 疑問・不審のある様子をする。

**首を突っ込む** その事に関心・興味をもって関係する。

**肩で風を切る** 権力を得て、得意げにふるまう。

**肩の荷が下りる** 責任や負担がなくなり気が楽になる。

る。

**手が離れる** ①仕事が一段落する。②子供が成長して、世話がいらなくなる。

**手に余る** 自分の能力を超えていて、どう処理してよいかわからない。

**手を広げる** 事業などの規模を大きくする。

**膝が笑う** 膝ががくがくする。(山道などを下るとき、疲れて膝の力が抜けることをいう。)

**膝を屈する** 屈服する。

**膝を乗り出す** 興味を感じて乗り気になる。

**膝を交える** 互いにうちとけて話し合う。

**足が遠のく** 訪ねることが間遠になる。

**足をすくわれる** 油断していて、その隙をつかれて、ひどいめに遭う。

**足を伸ばす** ある地点に着いたあと、更にそこから遠くへ行く。

**足を運ぶ** 出向いていく。

**足を引っばる** 人の成功や前進のじゃまをする。

い。

**腰が低い** 人に対してへりくだった態度である。

**腰を入れる** 物事を本気でやる体勢になる。

**腰をすえる** 落ち着いてゆっくり取り組む体勢をとる。

**尻が長い** 話し込んでなかなか帰らない。

**尻に火がつく** 物事が身近に差し迫っている。

**尻をぬぐう** 他人の失敗などの後始末をする。

**尻をまくる** 急に態度を変えて、開き直る。

**腕が立つ** 技量がきわめて優れている。

**腕が鳴る** 腕前を発揮したくてむずむずする。

**腕を上げる** 技術や芸が上達する。

**腕を振るう** 腕前・能力を十分に発揮する。

**手がかかる** 手間がかかる。世話がやけ

どを不注意に口外する。

**口がすべる** 言っではいけないことを、うっかり言ってしまう。

**口を合わせる** 示し合わせて同じ内容のことを言う。

**口をきく** 仲介やあっせんをする。とりもつ。

**口を濁す** はっきりと言わずにぼかす。

**首が回らない** 借金などで、やりくりがつかない。

**首をかしげる** 疑問・不審のある様子をする。

**首を突っ込む** その事に関心・興味をもって関係する。

**肩で風を切る** 権力を得て、得意げにふるまう。

**肩の荷が下りる** 責任や負担がなくなり気が楽になる。

る。

**手が離れる** ①仕事が一段落する。②子供が成長して、世話がいらなくなる。

**手に余る** 自分の能力を超えていて、どう処理してよいかわからない。

**手を広げる** 事業などの規模を大きくする。

**膝が笑う** 膝ががくがくする。(山道などを下るとき、疲れて膝の力が抜けることをいう。)

**膝を屈する** 屈服する。

**膝を乗り出す** 興味を感じて乗り気になる。

**膝を交える** 互いにうちとけて話し合う。

**足が遠のく** 訪ねることが間遠になる。

**足をすくわれる** 油断していて、その隙をつかれて、ひどいめに遭う。

**足を伸ばす** ある地点に着いたあと、更にそこから遠くへ行く。

**足を運ぶ** 出向いていく。

**足を引っばる** 人の成功や前進のじゃまをする。

どを不注意に口外する。

**口がすべる** 言っではいけないことを、うっかり言ってしまう。

**口を合わせる** 示し合わせて同じ内容のことを言う。

**口をきく** 仲介やあっせんをする。とりもつ。

**口を濁す** はっきりと言わずにぼかす。

**首が回らない** 借金などで、やりくりがつかない。

**首をかしげる** 疑問・不審のある様子をする。

**首を突っ込む** その事に関心・興味をもって関係する。

**肩で風を切る** 権力を得て、得意げにふるまう。

**肩の荷が下りる** 責任や負担がなくなり気が楽になる。

る。

**手が離れる** ①仕事が一段落する。②子供が成長して、世話がいらなくなる。

**手に余る** 自分の能力を超えていて、どう処理してよいかわからない。

**手を広げる** 事業などの規模を大きくする。

**膝が笑う** 膝ががくがくする。(山道などを下るとき、疲れて膝の力が抜けることをいう。)

**膝を屈する** 屈服する。

**膝を乗り出す** 興味を感じて乗り気になる。

**膝を交える** 互いにうちとけて話し合う。

**足が遠のく** 訪ねることが間遠になる。

**足をすくわれる** 油断していて、その隙をつかれて、ひどいめに遭う。

**足を伸ばす** ある地点に着いたあと、更にそこから遠くへ行く。

**足を運ぶ** 出向いていく。

**足を引っばる** 人の成功や前進のじゃまをする。

どを不注意に口外する。

**口がすべる** 言っではいけないことを、うっかり言ってしまう。

**口を合わせる** 示し合わせて同じ内容のことを言う。

**口をきく** 仲介やあっせんをする。とりもつ。

**口を濁す** はっきりと言わずにぼかす。

**首が回らない** 借金などで、やりくりがつかない。

**首をかしげる** 疑問・不審のある様子をする。

**首を突っ込む** その事に関心・興味をもって関係する。

**肩で風を切る** 権力を得て、得意げにふるまう。

**肩の荷が下りる** 責任や負担がなくなり気が楽になる。

る。

**手が離れる** ①仕事が一段落する。②子供が成長して、世話がいらなくなる。

**手に余る** 自分の能力を超えていて、どう処理してよいかわからない。

**手を広げる** 事業などの規模を大きくする。

**膝が笑う** 膝ががくがくする。(山道などを下るとき、疲れて膝の力が抜けることをいう。)

**膝を屈する** 屈服する。

**膝を乗り出す** 興味を感じて乗り気になる。

**膝を交える** 互いにうちとけて話し合う。

**足が遠のく** 訪ねることが間遠になる。

**足をすくわれる** 油断していて、その隙をつかれて、ひどいめに遭う。

**足を伸ばす** ある地点に着いたあと、更にそこから遠くへ行く。

**足を運ぶ** 出向いていく。

**足を引っばる** 人の成功や前進のじゃまをする。